



徳島県立中央病院 患者支援センター  
770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3  
<http://www.tph.gr.jp/>

電話 088(631)7151  
FAX 0120(631)715  
mail: [chiiki@tph.gr.jp](mailto:chiiki@tph.gr.jp)

## 薬剤耐性菌について～院内感染対策研修会報告～

抗菌薬は20世紀にはいり大いなる発展をしたものの、最終的には全ての系統の抗菌薬に例外なく耐性菌が発生している。

集中治療、新生児医療、がん医療などの臨床現場では、感染症に対する有効な治療を行うことなしには成り立たないの言うまでもないが、21世紀にはいり病原菌の薬剤耐性化は進行する一方、新規作用機序をもつ抗菌薬の開発は停滞ぎみとなっている。

我が国で特に問題となっている耐性菌として以下の7つがあげられる

### 「メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)」

特徴：黄色ブドウ球菌による医療関連感染症のおよそ半数を占める。世界的に減少傾向であるが、生来健康な人に発生する市中感染型 MRSA は増加傾向である。医療機関型 MRSA の多くは高齢者で肺炎を主とした感染症を起こす。

### 「バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)」

特徴：主に欧米で広がり、免疫不全患者での菌血症、腹腔内感染が問題となる。リネゾリド、ダプトマイシンが治療薬としてあげられるが、いずれも耐性化傾向にあり、感染管理が最善の対策となる。

### 「カルバペネム耐性腸内細菌科 (CRE)」

特徴：1990年代に日本で初めて報告された。集団感事例もあり、多剤耐性傾向が強く、死亡率が高いことが問題としてあげられる。抗菌剤の選択肢も限られ我が国ではコリスチン、チゲサイクリンのみとなっている。

### 「基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ (ESBL) 産生大腸菌」

特徴：ペニシリン系、セファロスポリン系のβ-ラクタム薬を分解できるβ-ラクタマーゼのうち、クラブラン酸により阻害されるもので、主に大腸菌に代表され（我が国では大腸菌の26%がESBL）、カルバペネム系に感受性がある。

### 「アシネトバクター」

特徴：アシネトバクター属のほとんどは非病原性の環境菌であるが、アシネトバクター・バウマニは人に病原性を示し、人工呼吸器肺炎、菌血症、手術後創部感染の原因となる。流行株はグラム陰性菌の中でも耐性度が高く、治療薬はコリスチン、チゲサイクリンに限られる。

### 「緑膿菌」

特徴：元来環境菌であるが、ヒトの呼吸器への親和性が高い。抗菌薬への耐性が強く、21世紀初めのことは多剤耐性緑膿菌が問題となっていた（現在は落ち着いている）。多剤耐性への治療薬としてメロペネム、セフェピムが代表される。

### 「淋菌」

特徴：淋病の原因となり、国内で年間8000人と言われる。比較的耐性率が低いセフトリアキソンが治療薬としてあげられる。

新たな抗菌薬の開発における課題として、標的が限られていること、短期間しか使用されず、いずれ耐性が生じるといった理由から、製薬会社の開発に投資をする意欲が削がれているのが現状である。その対策として、開発の段階でかかる費用を助成する Push incentive と承認・発売後一定期間売り上げに関係なく助成する Pull incentive がある。Push incentive は一定規模で助成などが行われているが、今後の抗菌剤の開発推進のためは、いっそうの Pull incentive が重要視される。

## E-ナース院内研修のお知らせ



### ① 『認知症患者のがんのケア』

講師：林 彗子 氏（藤沢湘南台病院 がん看護専門看護師）

日時：令和元年11月13日（水）17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

### ② 『放射線治療での看護の関わり』

講師：北爪 麻紀 氏（東邦大学医療センター大森病院 がん放射線療法看護認定看護師）

日時：令和元年11月27日（水）17時40分～18時40分

場所：当院3階 会議室2

\*院外の方も参加可能です。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 患者支援センター 有馬

## 看護局 専門分野研修会のお知らせ

### ① 『実践！安全に食べる／褥瘡予防のためのポジショニング』

担当：摂食・嚥下障害看護認定看護師 鶴岡利美 / 皮膚・排泄ケア認定看護師 小松美智子・大野美寿々

日時：令和元年11月5日（火）17:30～18:30

場所：当院3階 講堂

### ② 『多職種で支える放射線治療』

担当：がん放射線治療認定看護師 原裕美子

日時：令和元年11月22日（金）18:00～19:00

場所：当院3階 講堂

### ③ 『虐待への対応』

担当：小児救急看護認定看護師 諏訪 知穂

日時：令和元年12月3日（火）17:45～18:45

場所：当院3階 講堂

\*院外の方も参加可能です。事前申込みは必要ありません。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 看護局教育担当 佐藤

## がん相談支援センターのご紹介

当院のがん相談支援センター（患者支援センター内）では、がんに関する悩み事や不安について、専門の相談員が相談支援を行っております。

院内外問わず、地域の医療機関の皆様からのご相談もお受けしております。

お気軽にご連絡ください。

以下のようなご相談に対応しております。

- ・がんの治療に関する一般的な情報が知りたい
- ・緩和ケアについて知りたい
- ・アピアランスケアを受けたい・知りたい
- ・他のがん患者さんと話をしてみたい
- ・がん治療をしながら、仕事を続けていけるか不安 など

窓口：当院1階 総合案内 がん相談支援センター（患者支援センター）

TEL：088-631-7151（内線：5225）



徳島県立中央病院

TOKUSHIMA PREFECTURAL  
CENTRAL HOSPITAL

### 《報告》

皆様のおかげをもちまして、

令和元年8月は、地域医療支援病院

紹介率 92.7% 逆紹介率 184.6%でした。

今後も地域医療連携推進に努めます。何卒よろしくお願い申し上げます。